

平成29年度

事業報告書

社会福祉法人 富士市社会福祉協議会

目次

1. 概要.....	1
2. 会議開催状況.....	3
3. 事業実施状況.....	8
【広報啓発事業】	8
【社協会費募集】	11
【援護事業】	12
【地域福祉推進事業】	14
【ボランティア活動の推進】	21
【福祉教育の推進】	26
【相談事業】	28
【在宅福祉サービス事業】	32
【社会福祉センターの運営】	36
【生きがいデイサービス事業】	36
【健康づくりデイサービス事業】	37
【介護保険事業】	37
【障害福祉サービス事業】	38
【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】	39
【特定相談支援事業】	41
【共同募金運動】	41
【受入調整】	42
【社協災害対策本部開設訓練】	43
【富士市介護保険事業者連絡協議会の支援】	44
【団体事務支援】	44
【寄附金】	45

1. 概要

平成29年度は、4月1日に完全施行された改正社会福祉法及び本会定款に基づき、理事・評議員等新たな執行体制でスタートいたしました。

事業面では、第2年目を迎えた「第4次地域福祉活動計画」において、多くの事業が、企画・調査・検討段階から事業実施段階に入り、「だれもが安心してともに暮らせる地域」の実現に向けて事業が執行されました。以下、29年度事業計画における重点目標を中心に事業執行状況を報告いたします。

< 29年度の重点目標 >

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピネスF u j i）の充実・強化
2. 生活支援体制整備事業の推進
3. 市民後見人誕生に向けた成年後見支援事業の推進
4. 生活困窮者自立支援事業とユニバーサル就労支援事業の有機的な連携
5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

1. 結婚相談縁結び支援事業（ハッピネスF u j i）の充実・強化

本会が、昭和49年から取り組んで来ました結婚相談事業ハッピネスF u j iは、市からその存在意義を再認識され、29年度から結婚相談縁結び支援事業ハッピネスF u j iとして相談日時や場所、体制などにおいて機能の大幅な拡充を行い、グレードアップして事業展開をいたしました。

相談員を6名から8名に増員した上で、開催日を従前の毎週水曜日及び第2・第4日曜日に、毎月第1・第3土曜日も加えました。さらに、出張相談やPRを強化し、出会いふれあいパーティーも2回開催いたしました。

9月からは、市町村独自のICTシステムとしては、全国初となる「マッチング支援システム」を導入すると共に、結婚・婚活の専用ウェブサイトを市と共に開設し、IT世代の会員確保に努めました。結果、29年度末における登録者数は833人(前年対比164人増)、相談件数は5,327件(前年対比1,035件増)、成婚数は9件(前年対比2件増)といずれも増加いたしました。

2. 生活支援体制整備事業の推進

本年度、市から新たに受託した本事業は、国が「我が事・丸ごと」の理念のもと進める地域共生社会づくりの具現化の1つであります。高齢者等の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、社会福祉法人、民間企業など、多様なサービス実施主体による重層的な「生活支援・介護予防サービス」が提供できる体制整備とネットワーク化を進めました。具体的には、本会は、様々な地域包括ケア関係機関のコーディネーターとしての機能を担い、事務局である市と共に、まずは地域の現状とニーズの把握に向けた取り組みに着手しました。

また、3月には、ロゼシアターにて生活支援体制整備事業シンポジウムを開催し、関係者の理解を深めました。

3. 市民後見人誕生に向けた成年後見支援事業の推進

平成26年1月から始まった市民後見人養成研修は、数多くの日常生活自立支援事業支援員を生み出し、継続的な研鑽を重ねてまいりました。27年度には法人後見を受託し、機熟した本年度は、6月に市民後見人名簿登録者選考会議等関係会議を開催し、7月に市民後見個人受任推薦を家庭裁判所に行いました。そして、8月、遂に県内初の市民後見人第一号が、静岡家庭裁判所富士支部から選任され、順調に推移しております。

現在の家庭裁判所の意向は、本会で法人後見を行ったケースを市民後見人に引き継ぐ想定がされているため、3月に新たに1件受任し、合計2件の法人後見を行っております。

また、市民後見人候補者の継続研修を定期的に開催し、資質の維持向上に努めました。

4. 生活困窮者自立支援事業とユニバーサル就労支援事業の有機的な連携

3年目を迎えた生活困窮者自立支援事業ですが、市民の皆様の安定した暮らしへの支援と就労支援窓口として、周知も進み、順調に推移いたしました。

6月に、市は就労意欲がありながらも様々な理由で働きたくても働けない人のために、ユニバーサル就労支援事業の窓口をフィランセ内に開設いたしました。「くらし・しごと相談窓口」は、この事業の市民対応窓口となり、アセスメントを担当しており、求職者の支援や協力企業の開拓などにおいてもユニバーサル就労支援事業と有機的な連携を進めました。

5. 行政との関係強化と社協法人設立50周年記念事業の推進

行政からの委託事業については、日頃より事業連携に留意し、業務を遂行しております。従前から実施している市福祉部・保健部との懇談会に加え、8月に市長・副市長・市議会文教民生委員会との懇談会を実施し、関係強化を図りました。

また、平成32年に本会法人設立50周年を迎えるに当たり、実施計画案を作成し8月の理事会・9月の評議員会にお示しをしました。

その他、重点目標以外について、地域共生社会の担い手として職員の資質向上とさらなる地域ネットワークの構築に努める事を目的に、本会の基本理念と職員行動指針を平成30年4月1日より新たに制定すべく協議を行いました。

また、障害サービス事業においては、生活介護事業所吉原つくしの移転改築について用地確保の検討を進め、広見地先に候補地を絞りました。共同生活援助事業の検討については、先進事業所視察を7月に実施しました。

さらに、介護サービス事業においては、理学療法士を採用し、6月から個別機能訓練加算等の取得を行い、介護サービスの向上と収益の向上に努めました。

そして、本会の将来を見据えた体制整備としては、定年退職者補充として正規職員採用試験を事務局と障害サービスの部門で実施し、有能な人材の確保に努めました。

以上、29年度は、限られた財源の中で効率的な事業執行に努め、概ね順調な事業執行となりました。

2. 会議開催状況

1. 理事会

	場 所	会 議 事 項
第1回 29. 6. 2	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>議第1号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員就業規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議第2号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費等支給規程の承認について</p> <p>議第3号 平成28年度事業報告について</p> <p>議第4号 平成28年度決算について (監事監査報告について)</p> <p>議第5号 平成29年度補正予算について (第1号)</p> <p>議第6号 役員選任候補者の推薦について</p> <p>議第7号 評議員選任候補者の推薦について</p> <p>議第8号 定時評議員会の招集について</p> <p>議第9号 評議員選任委員会の招集について</p> <p>○成年後見等審査委員について</p> <p>○苦情解決第三者委員について</p>
第2回 29. 6. 20	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>議第10号 会長、副会長及び常務理事の選定について</p>
第3回 29. 8. 29	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>議第11号 平成29年度補正予算について (第2号)</p> <p>議第12号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第13号 平成29年度富士市社会福祉協議会会長表彰及び感謝状贈呈候補者について</p> <p>議第14号 評議員会の招集について</p> <p>○消費税還付に係る障害者就労支援 (B型) 及び生活介護事業所利用者への工賃特別支給について</p> <p>○平成29年度敬老会について</p> <p>○懲戒委員会について</p> <p>○平成28年度苦情概要について</p> <p>○結婚相談・縁結び支援事業「ハッピネスFuji」について</p> <p>○社会福祉協議会会費収納状況について (中間報告)</p> <p>○市民福祉まつりにについて</p>

	場 所	会 議 事 項
第 4 回 29. 11. 24	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 1 号 平成 2 9 年度上半期の会長及び常務理事職務執行状況報告</p> <p>報第 2 号 平成 2 9 年度上半期事業会計監査実施報告</p> <p>議第 15 号 平成 2 9 年度補正予算について (第 3 号)</p> <p>議第 16 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会職員の育児・介護休業等に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>議第 17 号 評議員選任候補者の推薦について</p> <p>議第 18 号 評議員選任委員会の招集について</p> <p>議第 19 号 評議員会の招集について</p> <p>○平成 2 9 年度歳末たすけあい運動について</p> <p>○平成 3 0 年度採用職員の募集について (中間報告)</p> <p>○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について</p> <p>○社会福祉協議会会費収納状況について</p> <p>○赤い羽根共同募金収納状況について (中間報告)</p>
第 5 回 30. 1. 26	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>○社会福祉法人富士市社会福祉協議会基本理念・職員行動指針について</p> <p>○訪問入浴介護事業について</p> <p>○生きがいデイサービス事業について</p> <p>○平成 3 0 年度採用職員の募集結果について</p> <p>○赤い羽根共同募金収納状況について</p> <p>○歳末たすけあい運動募金収納状況及び配分結果について</p>
第 6 回 30. 3. 19	フイレンセ東館 ボランティアルーム	<p>報第 3 号 専決処分の承認を求めることについて (社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定)</p> <p>報第 4 号 会長及び常務理事職務執行状況報告</p> <p>議第 20 号 平成 2 9 年度補正予算について (第 4 号)</p> <p>議第 21 号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会給与規程等の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議第 22 号 訪問入浴介護事業の廃止にかかる承認を求めることについて</p> <p>議第 23 号 平成 3 0 年度事業計画について</p> <p>議第 24 号 平成 3 0 年度予算について</p> <p>議第 25 号 評議員会の招集について</p>

2. 評議員会

	場 所	会 議 事 項
定時 (第1回) 29. 6. 20	フィナンセ西館 会議室1	議第1号 社会福祉法人富士市社会福祉協議会役員報酬及び旅費等支給規程について 議第2号 平成28年度事業報告について 議第3号 平成28年度決算について (監事監査報告について) 議第4号 平成29年度補正予算について(第1号) 議第5号 役員の選任について
第2回 29. 9. 13	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第6号 平成29年度補正予算について(第2号) ○消費税還付に係る障害者就労支援(B型)及び生活介護事業所利用者への工賃特別支給について ○結婚相談・縁結び支援事業「ハッピーネスFuji」について ○社会福祉協議会会費収納状況について(中間報告) ○平成29年度赤い羽根募金実施計画について ○平成29年度歳末たすけあい運動実施計画について ○市民福祉まつりにについて ○富士市社会福祉協議会法人設立50周年記念事業について
第3回 29. 12. 13	フィナンセ西館 会議室1	報第1号 平成29年度上半期事業会計監査実施報告 議第7号 平成29年度補正予算について(第3号) ○平成30年度採用職員の募集について(中間報告) ○市民福祉まつり、社会福祉大会の報告について ○社会福祉協議会会費収納状況について ○赤い羽根共同募金収納状況について(中間報告) ○平成29年度歳末たすけあい運動について
第4回 30. 3. 28	フィナンセ東館 ふくし体験・ 学習室	議第8号 平成29年度補正予算について(第4号) 議第9号 平成30年度事業計画について 議第10号 平成30年度予算について 議第11号 役員の選任について ○訪問入浴介護事業の廃止について ○生きがいデイサービス事業について ○平成30年度採用職員について

3. 評議員選任委員会

	場 所	会 議 事 項
第1回 29. 6. 27	フィナンセ東館 社協相談室	議第1号 評議員の選任について
第2回 29. 12. 5	フィナンセ東館 社協相談室	議第2号 評議員の選任について

4. 監 査

	場 所	会 議 事 項
29. 5. 18	フィナンセ東館 社協相談室	○平成28年度決算 事業会計監査
29. 11. 2	フィナンセ東館 社協相談室	○平成29年度上半期 事業会計監査

5. 共同募金委員会

	場 所	会 議 事 項
29. 8. 29	フィナンセ東館 ボランティアルーム	○平成29年度赤い羽根募金実施計画について ○平成29年度歳末たすけあい運動実施計画について ○街頭募金について

6. 苦情解決第三者委員会

	場 所	会 議 事 項
29. 7. 20	フィナンセ東館 社協相談室	○平成29年度苦情解決体制について ○平成28年度の苦情等の事例報告

7. 懲戒委員会

	場 所	会 議 事 項
29. 8. 25	フィナンセ東館 社協相談室	○職員の懲戒に関する要綱及び懲戒委員会について（報告） ○書記の任命について

8. 正副会長会

	場 所	会 議 事 項
第1回 29. 5. 25	フィナンテ東館 社協相談室	○第1回理事会について ○第2回理事会日程について
第2回 29. 6. 20	フィナンテ東館 社協会長室	○懲戒委員会委員について ○8月会議日程について ○市長・副市長との懇談会について
第3回 29. 8. 25	フィナンテ東館 社協相談室	○第3回理事会及び共同募金委員会について ○9月以降の会議日程について
第4回 29. 11. 21	フィナンテ東館 社協相談室	○第4回理事会について ○12月以降の会議日程について ○富士市社会福祉協議会 基本理念・職員行動指針（案）について
第5回 30. 1. 23	フィナンテ東館 社協相談室	○第5回理事会について ○1月以降の会議日程について
第6回 30. 3. 15	フィナンテ東館 社協相談室	○第6回理事会について ○3月以降の会議日程について

3. 事業実施状況

【広報啓発事業】

1. 各種広報媒体の活用

市民に広く社協への理解をいただくため、また、事業等で社協を活用していただくため、全戸に広報紙「お元気ですか」を配布すると共に、ウェブサイトの充実を図り、さらに市内のコミュニティーエフエム（ラジオエフ）の放送に社協役職員・ボランティア・モニターが出演、また、社協への寄附や事業実施時等に報道メディアへの情報提供を積極的に実施するなど、様々な広報啓発活動を行った。

(1) 広報紙『お元気ですか』の発行

会員である市民に対し、読みやすく分かりやすい福祉情報を発信すると共に、社協への理解を高めるために年4回発行した。

- ・6／20号 結婚相談・縁結び事業ハッピーネスF u j i 他
- ・9／20号 赤い羽根共同募金活動 他
- ・新年号 ささえあいたすけあい活動 他
- ・3／20号 成年後見制度 他

広告協賛企業（敬称略）

ロゼ にじいろクリニック(医療法人財団新六会)	4回
小松クリニック(医療法人社団青葉会)	4回

(2) Radio-f の活用

- ・月1回（最終水曜日）放送の「はあとふるトーク」に役職員、地域住民、ボランティア等が年間12回出演し、社協事業のPRに努めた。
- ・災害時の連携を視野に入れた防災パートナースポットCMを毎月1回実施。
その他、随時社協事業の広報媒体として協力を求め活用をした。

(3) ウェブサイトの充実

市民にわかりやすい福祉情報を発信するため、スマートフォン等でも見やすいサイトへの移行作業に着手した。また、速報性の高い情報は社協公式ブログに掲載した。

(4) 報道メディアへの情報提供を通じた事業等の周知

報道メディアに社協や福祉推進会等の事業及び社協への寄附等の情報を積極的に提供し、紙面や報道を通じて事業等の周知を行った。

2. 富士市社会福祉大会

社会福祉関係者の表彰及び記念講演をロゼシアターで開催した。

- ・開催日 11月9日(木)
 - ・開催場所 ロゼシアター 中ホール
 - ・参加人員 約450人
 - ・内容 表彰式 被表彰者 47人
- 活動発表 「ユニバーサル就労について」
発表者 富士市ユニバーサル就労支援センター
統括責任者 三好泰枝さん
- 講演 「だれでも簡単健康法」
講師 医師・イシハラクリニック
副院長 石原新菜さん



福祉大会 表彰式



講演

3. 社協モニター制度

社協事業に対して市民各層の意見や要望を把握するとともに、社協の啓発を行い、事業の充実強化を図ることを目的にモニターを2年間委嘱し、会議への出席やモニター通信で意見の提言をお願いした。

- ・モニター会議
 - 第1回モニター会議 社協概要説明、モニター制度について
 - 第2回モニター会議 社協の自主財源について
 - 第3回モニター会議 施設見学(田子浦荘、富士川地域福祉センター他)
 - 第4回モニター会議 ふれあい・いきいきサロンについて
- ・モニター通信受付状況 47通

4. 福祉図書コーナーの運営

フィランセ東館3階市民交流フロアに福祉図書コーナーを置き、図書等の貸出を行った。

(1) 図書等の貸出

・福祉図書	33冊
・ビデオ・DVD	14件
・カセット・CD	14件

(2) 貸出利用券新規発行者数 10人

5. 第37回市民福祉まつりの開催

ノーマライゼーションの理念に基づき、あらゆる人が気軽に心地よくふれあう場を創出し、福祉への理解を深め、共に生きるまちづくりをすすめることを目的に開催した。当会は、このまつりの実行委員会の事務局を担っている。



市民福祉まつり

テーマ：であい ふれあい わかちあい ～来て 見て 遊んで 参加して！～

・日時 10月15日（日） 午前9時30分～午後1時30分

（雨天の為、短縮）

・場所 中央公園西側イベント広場

・内容 ステージ部門 福祉施設などの音楽、劇、ダンスの披露

福祉部門 障がいの理解を深める福祉体験と来場者サポート

バザー部門 福祉施設や各種団体による模擬店及びバザー

子ども部門 ゲーム、紙芝居などで、みんなで楽しくふれあう場

啓発部門 介護関連商品の展示及び体験など福祉情報の発信

総務部門 まつり本部運営や駐車場、交通案内、警備等の連絡調整

・主催 市民福祉まつり実行委員会

6. 市民活動団体“はじめての一步”助成金

市民活動を始めようとする団体に対し、その設立等に係る経費の支援を行うことにより、福祉・文化・教育等の向上を図ることを目的に助成を行った。

・申請団体		
アロマを楽しむ会	93,000円	
FUJIことはじめ	100,000円	
音舞の会	73,000円	
助成額 合計	266,000円	



はじめての一步助成金審査会

【社協会費募集】

6月を社協会費募集月間に定め、各世帯よりいただく普通会費、篤志家よりいただく特別会費、福祉団体及び福祉施設・福祉事業所から団体施設会費として、ご協力をいただいた。

- ・協力団体（敬称略） 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体
- ・実施状況

区 分	金 額	実 績 額
普 通 会 費	各世帯 300円	23,589,350円
特 別 会 費	個人・企業・法人 1000円以上	6,521,000円
団 体 施 設 会 費	福祉施設・団体 1000円以上	368,000円
合 計		30,478,350円

(前年同期 30,344,950円)

【援護事業】

1. 援護事業

(1) 緊急一時援護事業

低所得世帯等で、緊急に援助を要する世帯であって、返済の見込のたたない者に5万円を限度に援護を行った。

・生活援護	6件	225,000円
-------	----	----------

(2) 小口資金貸付事業

低所得世帯を対象に、一時的に必要な生活資金を5万円を限度に無利子にて貸付け、世帯の自立支援を行った。

・貸付	16件	483,000円
-----	-----	----------

(3) 罹災世帯援護事業

火災に遭われた罹災世帯に対し見舞い金を支給した。

・全焼	5件	150,000円
・半焼	2件	40,000円

(4) 高額療養費等資金貸付事業

国保加入者で高額な医療費の支払に困っている方に、高額療養費等資金の貸付を行った。

・貸付	310件	27,210,295円
-----	------	-------------

<内 訳>

1. 高額療養費	195件	24,417,900円
2. 重度医療費	112件	2,740,040円
3. 母子医療費	3件	52,355円

(5) 生活福祉資金貸付事業

低所得世帯の生活意欲を助長し、その自立更生を図ることを目的に県社協の審査を経て生活福祉資金等の貸付を行った。

・教育支援資金	7件	6,858,000円
・福祉資金	1件	168,850円
・総合支援資金生活支援費	1件	202,578円
・緊急小口資金	2件	200,000円
合 計	11件	7,429,428円

(6) 児童援護事業

・低所得世帯小中学校入学支度費支給	1, 568, 000円
・低所得世帯小中学校修学旅行支度費支給	2, 762, 000円
・児童遊び場設置費助成	262, 000円
・交通遺児入学祝金・見舞金の支給	120, 000円
・交通遺児等育英奨学金支給	468, 000円

(7) 高齢者援護事業

・敬老会助成	一人あたり200円	対象人数	28, 537人
			5, 707, 400円

2. 福祉団体等援護事業

(1) 児童福祉団体

・子ども会世話人連絡協議会助成	300, 000円
・里親会助成	50, 000円
・静岡県児童福祉施設球技大会助成	30, 000円

(2) 高齢者福祉団体

・悠容クラブ連合会助成	200, 000円
・認知症の人と家族の会助成	100, 000円
・在宅介護者家族の会助成	50, 000円

(3) 障がい者福祉団体

・手をつなぐ育成会運営助成	300, 000円
・身体障害者福祉会運営助成	200, 000円
・視覚障害者福祉会運営助成	50, 000円
・聴覚障害者協会運営助成	50, 000円
・三福祉団体スポーツレクリエーション大会助成	30, 000円

(4) 地域活動団体

・地域福祉活動費（町内会）	2, 577, 300円
・民生委員児童委員活動実費弁償費	429, 000円
・民生委員児童委員協議会活動費助成	300, 000円
・女性ネットワーク富士活動費助成	100, 000円

(5) 権利擁護団体

- ・ 人権擁護委員会助成 70,000円

(6) ボランティア団体

- ・ ボランティア連絡会助成 300,000円
- ・ 災害ボランティア連絡会助成 200,000円

【地域福祉推進事業】

1. 地区福祉推進会の活動支援

「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、市内26地区の「地区福祉推進会」ごと担当職員を配置し、その地区に必要な資源開発・育成を行い、支え合い助け合いのまちづくりを地域住民の皆さんと共に実施した。



須津地区ふれあい昼食会



丘地区七夕まつり



伝法地区中学生福祉体験



富士駅北地区ふれあいの集い

各地区活動状況

地区名	発足年度	主 な 事 業		
富士南	昭和63年	地域見守り活動	学校行事への協力	高齢者お楽しみ会
富士見台	平成元年	ぼらんていあスクール	ふるさと伝承	ふれあい交流会
今泉	〃	高齢者見守り活動	中学生福祉体験	顔の見える関係づくり
吉永	〃	ひとこえ会	愛の家庭訪問	ふれあい歌声喫茶
天間	平成2年	ふれあい昼食会	住民福祉講座	七五三奉納相撲大会
須津	平成3年	ふれあい夕食サービス	ホットひといき広場	ふれあい昼食会
岩松	平成4年	高齢者等支援事業	かりがねまつり	サロンへの支援活動
富士駅南	平成6年	福祉フェスティバル	住民福祉ネットワーク	ボランティアサポート
丘	平成7年	七夕まつり	高齢者おせち配食	福祉講座
浮島	平成8年	ふれあい交流会	ふれあい昼食会	愛の声かけ訪問
原田	〃	バンク仕事体験	ふれあい配食	サロン交流会
元吉原	平成9年	ふれあい配食	親子ふれあい交流事業	ふれあい昼食会
鷹岡	平成10年	三世代交流会	ふれあい昼食会	福祉講演会
伝法	〃	中学生福祉体験	ふれあい交流会	ふれあい配食
富士駅北	〃	ふれあいの集い	障がい者との交流事業	福祉講演会
吉原	平成12年	ふれあい昼食会	ふれあい交流会	絵手紙慰問
田子浦	〃	ふれあい配食	住民福祉講座	ふれあい昼食会
岩松北	平成13年	梅まつり福祉バス運行	ふれあい昼食会	放課後子ども教室
青葉台	〃	防災グッズ配布	うたごえサロンつぼみ	クリーン&ウォッチャー
神戸	〃	ふれあい交流	ホッともっと広場	神戸福祉寄席
広見	平成14年	福祉フェスティバル	サロン交流会	ふれあい昼食会
吉永北	平成15年	ふれあい配食	ふれあい訪問	昔あそび体験
富士北	平成16年	こえかけネット	ふれあい配食会	福祉講演会
大淵	〃	こえかけ運動	あいさつ運動	ふれあい配食
富士川	平成21年	福祉委員研修会	サロンへの支援	セキュリティシステム
松野	〃	福祉委員研修会	サロンへの支援	健康運動推進講座

2. 地区福祉推進会連絡会の活動支援

各地区福祉推進会の事業活性化のために情報交換を行った。

また、市内を6ブロックに分けたブロック会議では、それぞれの課題や今後取り組んでいきたいテーマを基に、会議・研修会等を行った。

<正副会長会議>

- 5月29日（月） 平成29年度の事業について
- 7月 4日（火） 推進会のあり方について
- 9月27日（水） 研修会・生活支援の方法について
各地区の生活課題への対応について
- 12月14日（木） 生活支援シンポジウムについて
ふれあい・いきいきサロンへの支援について
- 3月27日（火） 地域包括ブロックへの編成について
会則変更案について

<ブロック会議>

東部ブロック会議

8月25日（金）、3月7日（木）

各地区の見守り活動について、地域包括ケアとは

中部ブロック会議

7月27日（木）、11月24日（金）

介護支援サポーターについて、高齢者の入所施設について

北部ブロック会議

7月27日（木）、2月4日（日）

圏域内の個別事例について、介護予防講座の開催

南部ブロック

8月31日（木）、2月28日（水）

地域課題の共有、個別課題と地域にできることのグループワーク

北西部ブロック

9月6日（水）、2月4日（日）

天間地区コミュニティバス「てんまーる」、発達障害について

西部ブロック

8月30日（水）、2月20日（火）

笑いヨガの効用、回想法を学ぶ

<全体事業>

6月27日（火） 富士市地区福祉推進会連絡会

事業報告及び事業計画

研修「地域ケア会議と地域福祉活動について」

講師：高齢者介護支援課 保健師 若月純子 様

3月15日（木） 生活支援体制整備事業シンポジウムに参加



生活支援体制整備事業シンポジウム



地区福祉推進会ブロック会議

3. 見守り・生活支援活動の実施（小地域福祉ネットワーク事業）

各地区及び各地域の中で、要援護者に対し見守り活動を展開し、安否を確認した。

- <富士南地区> 小中学生を見守る毎日の防犯パトロールを実施
- <吉永地区> 近隣の方（ひとこえ会）が日常的な安否確認を実施
- <岩松地区> 近隣の方（みまもり隊）が日常的なこえかけを実施
- <富士駅南地区> 住民福祉ネットワークで高齢者宅を誕生日等に訪問
「地域支え合いマップ」の作成
- <富士駅北地区> 近隣の方（見守り協力者）が日常的な安否確認を実施
- <富士北地区> 近隣の方（こえかけボランティア）が日常的なこえかけを実施
- <大淵地区> 回覧版を手渡しで行い、安否確認を実施
生活上の困りごと対応 「城山町お助け隊」支援

4. 生活支援体制整備事業第1層生活支援コーディネーター業務の推進

生活支援・介護予防の基盤整備を推進していくことを目的に、富士市より※第1層コーディネーター業務を受託し、市全域で生活支援サービスが行われるよう基盤整備と関係機関ネットワークの構築などを行った。

また、生活支援体制の深化のため、市民向けシンポジウムを開催した。

- ・第1層協議体会議

5月31日（水） 「地域包括ケアシステムの理解と地域支援事業の理解」

8月23日（水） 各団体の紹介、生活支援の取組状況の共有

11月28日（火） 包括支援センターの役割と介護保険制度と総合事業

3月27日（火） 第2層協議体の活動イメージとグループワーク

- ・生活支援コーディネーター会議

6月21日（水） 第1層協議体の役割と市民向け啓発について

9月26日（火） 第2層協議体の圏域設定、シンポジウムについて

2月26日（月） 第2層協議体の取組状況

- ・生活支援体制整備事業シンポジウムの開催

3月15日（木） 基調講演「支え合い・助け合いがあふれるまちづくりを目指して！」

講師 酒井 保 氏(ご近所福祉クリエイター)

実践報告 大淵城山町 臼井町内会長

居宅介護支援事業所けいあい

神出ケアマネジャー

※第1層生活支援コーディネーターとは、富士市域全域の福祉活動団体を組織化し、生活支援の働きかけ、立ち上げ支援、行政への働きかけ、施策提言をおこなう人

5. 地域包括ケア体制の構築に向けた地域支援

生活支援・介護予防に関する地域支援や地域住民主体の支え合い・助け合いがあふれるまちづくりのため、※第2層生活支援コーディネーターと一緒に各担当職員も地域資源の育成・活動支援を行った。

- ・各地区地域ケア会議、個別ケア会議への参加

※第2層生活支援コーディネーターとは、小学校区を単位として、生活支援のニーズ把握や社会資源の把握、サービスの開発を地域住民と共におこなう人

6. ふれあい・いきいきサロンの推進

ふれあい・いきいきサロンは、日常生活の基盤である地域社会において、高齢者や障がい者の孤独感等の解消並び介護予防を目的とした組織。ふれあい・いきいきサロンを地域住民が自主的・自発的に取り組み、地域にとけ込んだふれあいと見守りの場となりえるよう支援した。

- ・対 象 家に閉じこもりがちな高齢者・障がい者等
- ・利用料 無料
- ・開設数 166カ所 (3月31日現在)
- ・サロンボランティア研修会

平成28年度のアンケート結果を受け、市内全サロンを対象とし、講師に「株式会社エイワンススポーツプラザ 健康運動指導士 田中礼人」氏を招き、持ち帰って実践できる軽運動に関するサロンボランティア育成研修を行った。

- 開催日 2月26日(月)
- 場 所 フィランセ
- 参加者 75人



サロンボランティア研修会

- ・年度更新手続き・相談会

富士市内を3エリアに分け、年度更新の申請手続き及びサロンの運営に関する相談会を実施した。

①北部エリア(北部、鷹岡地域包括圏域)

- 開催日 2月7日(水)
- 場所 大淵まちづくりセンター

②西部エリア(富士北部、富士南部、富士川地域包括圏域)

- 開催日 2月20日(火)
- 場所 フィランセ

③東部エリア(東部、吉原中部、吉原西部地域包括圏域)

- 開催日 2月28日(水)
- 場所 東部市民プラザ
- 協力 各地域包括支援センター

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

- ①サロン開設数 185ヶ所
- ②モデル地区への支援 2ヶ所

《実績》

- ①サロン開設数 166ヶ所
- ②モデル地区への支援 2ヶ所（岩松・岩松北）

地区内で既に開所しているサロンを会場に見学会を行い、サロンの役割や機能、活動について説明を行い、サロン運営に興味のある方たちに対し啓発を行った。

岩松・今松北地区参加者 11名

7. さわやかコール事業

ひとり暮らし高齢者の安否確認を目的に、民生委員児童委員を通じて申し込みをおこない、委託先であるヤクルトの方がひと声かけながら乳酸菌飲料を宅配するサービスを実施。声かけ時に応答がないなど安否が確認できなかった際には、担当の民生委員児童委員や緊急連絡先等に確認をしたほか、必要に応じて職員が訪問し安否確認を行った。

- ・委託先 中央静岡ヤクルト販売㈱
- ・訪問日 週3回が基本

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

- ①利用者数（月平均） 485名
- ②関係機関との連携強化

《実績》

- ①利用者数（月平均） 470名
- ②包括支援センターと民生委員の連携によって新規申請に至ったケースが7件。

ヤクルトと民生委員間での見守り情報共有も密に行われ、利用者の状況に合わせた変更連絡も円滑に行われている。

【ボランティア活動の推進】

1. ボランティアセンター運営事業

(1) ボランティアセンター利用状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開館日	28	27	29	29	29	27	28	27	26	26	26	29	331	332
利用者数	682	538	469	348	726	685	570	558	303	314	656	666	6,515	7,145
1日平均	24.4	19.9	16.2	12.0	25.0	25.4	20.4	20.7	11.7	12.1	25.2	23.0	19.7	21.5

・ボランティア活動希望の相談 58件

(2) 需給調整

・ボランティア活動依頼 320件

・ボランティア対応 268件（延べ 808人）

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

①相談件数 200件

《実績》

①相談件数 378件

内訳 ボランティア活動希望 58件

ボランティア依頼 320件

(3) ボランティア保険の普及

・加入者数 3,422人

・事故対応 9件

(4) 富士市ボランティア連絡会

連絡会は、加入しているボランティアグループで組織し、情報交換をはじめ、ボランティアに関する研修を実施した。

・毎月第1金曜日 定例会開催

・加入団体 41団体 524人

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

①登録団体 50団体

《実績》

①登録団体 41団体

(5) 富士市災害ボランティア連絡会

災害時におけるボランティア活動がスムーズに行えることを目的に、災害ボランティア連絡会を組織し、定例会での情報交換をはじめ研修や災害ボランティア支援本部開設訓練等を実施した。

・加入団体 11団体

富士市災害救援バイク隊『ペガサス』	静岡県市町村職員年金者連盟富士市支部
富士市アマチュア無線非常通信協力会	災害ボランティアコーディネーター富士
富士市ボランティア連絡会	富士市赤十字奉仕団
静岡県看護協会富士地区支部	常葉大学ハルジオン
富士市まとい会	家具やしめ隊
富士R B	

・災害ボランティア支援本部開設訓練

開催日 1月20日(土) 13:00～15:30(準備訓練)

21日(日) 7:30～12:00(ボランティア受入訓練他)

場 所 富士市フィランセ、富士市富士川ふれあいホール 他

内 容 災害時を想定したボランティア受入訓練、防災用品の展示 他

参加者 スタッフ 150名、一般参加者 242名



ボランティア受付



飛散防止フィルム貼り

(6) 企業の地域貢献・社会貢献活動への協力

富士市内外の事業所による地域貢献・社会貢献活動の推進に対して連携及び協力を図るため、今後の活動や連携についての協議を行った。

対象企業及び事業所 6社

《平成29年度の主な取組目標(地域福祉活動計画より)》

①支援企業 1社

《実績》

①支援企業 3社

2. ボランティア育成事業

ボランティアニーズの多様化に伴い、これからボランティアを始めようとする人たちにボランティアの基本を身につけていただくと共に、現在ボランティア活動をしている人にボランティアについての認識を深めてもらうために、各種講座や研修会を開催した。

(1) ボランティア講座

ボランティア活動の未経験者や既にボランティア活動をされている方々を対象に自分の行動や活動を振り返り、ボランティアに対する新たな気づきを促すことを目的に開催した。

- ・開催日 7月15日（土） 10:00～12:00
- ・内容 講演 あなたの「好き」を活かしましょう！
講師 日本ボランティアコーディネーター協会 理事
疋田 恵子 氏
活動実践事例発表（特技、移送 各ボランティアより）
- ・参加者 48人

(2) 託児ボランティア養成講座

託児ボランティアの基礎的なことや子どもたちとの楽しい遊び方、子どもの障がいや発達についての基本を学ぶ講座を開催した。

- ・開催日 9月13日（水）、20日（水） （全2回）
10:00～12:00
- ・内容 子どもとの接し方や遊び方、
託児ボランティアとの交流会、
託児ボランティアの必要性、
ボランティア活動について、
託児ニーズの紹介
- ・参加者 17人



託児ボランティア養成講座

(3) 音訳ボランティア養成講座

視覚障がい者の情報手段の拡充や自立と社会参加の支援をするための音訳に携わるボランティアを養成するための講座を開催した。

- ・開催日 1月10日（水）、17日（水）、24日（水）、
1月25日～2月6日の中で1日、2月7日（水）、
14日（水）、21日（水）、28日（水）（全8回）
9:00～12:00（実習日を除く）
- ・内容 音訳基礎技術を身につけるための実技、リスナーとの懇談
- ・参加者 14人（13人修了）

(4) 家具固定ボランティア講座

家具固定に必要な知識を学ぶとともに、ひとり暮らし高齢者など自分では家具の固定ができない方々への支援を目的に講座を開催した。

- ・開催日 3月9日(金)、16日(金)、23日(金) (全3回)
19:00～21:00
- ・内容 家具固定の必要性、家具固定方法の講義と実技
- ・参加者 9人(全員修了)

(5) 傾聴ボランティア養成講座

地域や身近な場所で相手の声に耳を傾ける方や様々なボランティア活動の場で傾聴技術を役立てていただく方を増やしていくことを目的に講座を開催した。

- ・開催日 9月3日(日)、9日(土)、30日(土)
10月7日(土)、22日(日)
各9:00～12:00 (全5回)
- ・内容 傾聴に関する講義と傾聴技術を学ぶための実技
- ・参加者 28人(23人修了)

(6) 移送ボランティア研修会

移送ボランティア向けに、事業説明及び交通安全講習、また、ボランティア間の交流を深める目的で研修会を開催した。

- ・開催日 6月24日(土)、7月1日(土) (全2回)
9:00～12:00
- ・内容 中央自動車学校協力による、運転指導・誘導方法の講習
- ・参加者 18人(移送ボランティア登録者6人・新規参加者12人)

(7) 音訳ボランティア懇談会

音訳ボランティアグループ間の情報交換と交流を目的に開催した。

- ・開催日 3月16日(金) 10:00～11:30
- ・内容 日頃の音訳活動について 等
- ・参加者 9人(やまびこ5月号、C3PO、秋桜、すみれ)

3. 障害児（者）サービス事業

(1) 移送サービス事業

車いす使用者の通院・リハビリ等にリフト付ワゴン車で送迎を行うサービスを実施した。

- ・利用件数 332件
- ・走行距離 12,073km
- ・利用登録者数 43人
- ・移送ボランティア登録者数 51人
- ・延べ活動者数 983人

(2) 移送車両貸出事業

車いす使用者に対して、移送車両を貸出し、社会参加の促進を図った。

- ・貸出件数 99件

(3) ふじおもちゃ図書館の運営

ハンディキャップのあるなしにかかわらず、おもちゃを通しての交流の場として開館した。

- ・開館日 火・木・土曜日 10:00～12:00
日曜日 10:00～12:00 13:00～15:00
- ・協力団体 ふじおもちゃ図書館ボランティア 43人
- ・会場 ふじおもちゃ図書館（富士市フィランセ東館4階）

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
利用者数	325	232	351	443	389	458	466	357	275	358	355	580	4,589	4,961

(貸し館)

ふじおもちゃ図書館閉館時に、障がい児（者）及び団体に託児や交流のスペースとして貸し館を行った。

利用状況

単位：人

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
利用者数	308	220	184	300	422	143	308	318	233	219	226	319	3,200	4,069

(4) 声の広報事業

ボランティアグループの協力により、月2回発行される「広報ふじ」や「警察だより」「市議会だより」等をCD及びテープに吹き込み視覚障がい者に情報提供した。

- ・利用者 29人
- ・協力団体 5団体（やまびこ5月号・20月号、すみれ、C3PO、秋桜）

【福祉教育の推進】

1. 福祉人材育成事業

これからの福祉事業に携わる人材の定着及び確保を目指し、広く福祉に関する啓発を行うための福祉人材育成事業に取り組んだ。

<実行委員会>

- ・内 容 本会と市内の各関係機関との連携及び協働による事業計画立案のための実行委員会を設置し、実施内容の検討を行った。
- ・開催日 6月6日（火）、8月29日（火）、11月17日（金）、
1月18日（木）（全4回）
- ・委員数 9人

<研修会>

- ・開催日 12月12日（火） 10:00～16:00
- ・会 場 富士市フィランセ西館4階大ホール
- ・内 容 採用力・定着力をUPする！
- ・講 師 門野友彦氏（らしき研究所 所長）
- ・対象者 社会福祉施設等の職員
- ・参加者 36人

2. 夏休み福祉なんでも学習

夏休みの自由研究の課題や福祉全般についての学習のヒントとなる体験型学習会を開催した。

- ・開催日 8月5日(土) 9:00～12:00
- ・会場 富士市フィランセ東館
- ・内容 福祉・ボランティアに関する資料提供や疑似体験
- ・参加者 220人(来場者 169人 ボランティア 51人)

3. 福祉体験(車いす、アイマスク等)や福祉講話の実施

福祉教育を積極的に推進するため、学校単位・クラス単位等において、体験学習や福祉に関する講話等を行った。

5件 市内小中学校・高校等にて

4. 富士市福祉教育担当者連絡会の開催

社協から提供できるプログラム等の紹介や、いかに地域と連携し、福祉の総合学習を通してどのような学びを得られたのかを共有し合い、各校における福祉教育の推進に資することを目的に連絡会を開催した。

- ・開催日 8月24日(木) 13:30～16:00
- ・内容 講演
「いま福祉教育がおもしろい～福祉教育のための教材づくり～」
グループワーク
- ・参加者 14人

5. 福祉体験機材の貸し出し

福祉の心を育むための体験用として疑似体験機材を貸し出した。

	車いす	アイマスク 白杖	シニア	右マヒ	点字盤	ボッチャ	触感体験 セット
個数	223	300	174	44	79	9	16
回数	31	23	20	5	8	9	10

<相談状況>

相談件数	986件
<内訳> 来所相談	116件
電話相談	870件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	84	85	85	83	75	100	78	66	84	73	93	80	986	1,099

相談内容	件数	前年
福祉制度等の利用相談	1	1
福祉サービス等の利用相談	14	11
自立生活についての相談	71	113
家庭生活についての相談	119	193
教育に関する相談	2	1
就労に関する相談	27	25
医療・健康に関する相談	39	68
虐待に関する相談	10	3
その他	749	857
合計	1,032	1,272

※重複回答あり

2. 結婚相談

8名の相談員が毎週水曜日及び毎月第1・3土曜日、第2・第4日曜日に育児研修室において結婚に関する相談に応じた。

・相談件数 5,327件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
開催日数	6	6	8	8	9	8	7	10	8	8	7	7	92	75
相談件数	325	352	376	362	444	613	448	627	465	430	398	487	5,327	4,292

・登録者数 833人（前年669人）

・引き合わせ組数 210組（前年195組）

・引き合わせ成立組数 95組（前年78組）

・結婚成立件数 9組（前年7組）

・特設相談状況

「出会いふれあいパーティー」 2回開催 58人 参加

「出張PR」 10回開催（市役所、まちづくりセンター等）

3. 生活困窮者自立相談支援事業の実施

フィランセ東館1階に生活課題を抱えた市民からの相談に早期かつ包括的に応ずるくらし・しごと相談窓口を開設。3名の相談員を配置し相談者の抱えている問題を適切に評価・分析し、その課題を踏まえた「自立支援計画」を相談者本人と共に作成して、相談者の生活の立て直しに向けた支援を行った。

事業の周知に関して、関係機関や事業所の他にもスーパーや商業施設等に名刺サイズのミニチラシの設置についてご協力をいただき市民への情報提供を行った。

また、市が新たに取り組み始めたユニバーサル就労支援事業の初期相談の窓口としてユニバーサル就労支援センターへ相談を繋ぎ、併せて同センターと連携しながら相談者の就労支援を行った。

<相談状況>

相談件数 1,746件

<内訳> 男性 1,100件 来所 589件

女性 646件 電話 772件

不明 0件 メール 29件

訪問 173件

同行 183件

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談者数	73	52	65	47	65	52	54	58	68	61	85	82	762	788
新規相談者数	23	23	29	15	29	27	22	28	30	19	46	36	327	176

相談内容	件数	支援内容	件数
病気や健康、障害のこと	188	食料支援	255
家賃やローンの支払いのこと	176	住居確保給付金	24
仕事探し、就職について	719	一時生活支援	38
家族との関係について	117	福祉資金貸付	36
ひきこもり・不登校	23	就労支援	200
住まいについて	174	就労準備支援	66
税金や公共料金等の支払について	141	学習支援	3
仕事上の不安やトラブル	82	生活保護	44
子育てのこと	14	緊急援護費支給	9
DV・虐待のこと	22	他法紹介	128
収入・生活費のこと	478	家計相談支援	30
債務について	159	相談のみ	1,003
介護のこと	35	マザーズコーナーへのつなぎ	55
地域との関係について	12	ユニバーサル就労へのつなぎ	58
食べるものがない	292	合計	1,949
その他	364		
合計	2,996		

※重複回答あり

【在宅福祉サービス事業】

1. 日常生活自立支援事業

住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉サービス利用の援助や日常生活に必要なお金の出し入れ、福祉サービスの利用料・公共料金などの支払いを支援した。

- ・利用対象 認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で、自身の判断能力に不安のある方
- ・援助内容 福祉サービスに関する情報提供、利用手続きの代行
日常的な金銭管理の支援、重要書類等の預かり

区 分	認知症高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	合計	前年
相談件数	17	7	8	12	44	73
契約件数	19	27	13	10	69	71
契約者支援	1,893	2,455	1,707	1,162	7,217	7,112

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

①利用契約件数 80件

《実績》

①利用契約件数 69件

内訳	認知症高齢者	19件	知的障害者	27件
	精神障害者	13件	その他	10件

2. 成年後見支援センター運営事業

認知症、知的障がい、精神障がいなどにより判断能力が十分でない人が成年後見制度を的確に利用できるよう支援を行い、これらの人の権利を尊重し擁護することにより地域で安心して暮らせるよう、成年後見制度の利用促進を図ることを目的として設立された成年後見支援センターで市民等の相談を受けた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
相談件数	15	15	11	6	7	9	7	22	13	8	10	18	141	177

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

①相談件数 210件

《実績》

①相談件数 141件

＜成年後見制度講演会＞

- ・日 時 11月18日（土）
- ・講 師 辻村司法書士事務所 辻村基樹氏
- ・演 題 「はじめての成年後見制度」
～後見制度のメリット・デメリット～
- ・参加者 129名

＜普及啓発＞

日 時	内 容	参加者人数
5月24日	介護支援専門員基礎研修	45
11月18日	成年後見制度講演会	129
12月6日	磐田市社協・地区社協視察受入	41
1月17日	障害者支援事業所ひかりの丘保護者会	10
2月21日	刈谷市社協視察受入	11
合 計		236

3. 市民後見推進事業

＜市民後見人の研鑽＞

1～3回の市民後見人候補者39名が日常生活自立支援事業支援員として活動を行いながら身上監護の実務経験を積んでいる。

センターはその指導助言を行い研鑽をサポートした。

- ・支援回数延べ 494件

<市民後見人候補者継続研修>

第1～3回市民後見人候補者39名が日常生活自立支援事業の支援員となり、引き続き研鑽を積んで行くことになり、そのフォローアップ、モチベーション維持のために継続研修を開催した。

開催日：偶数月開催（全6回）

内 容：高齢者のための施設入所・市民後見人向け保険、
くらし・しごと相談窓口、ユニバーサル就労支援センター
市民後見人の実務、実践の振り返りと意見交換・演習、活動報告。

<市民後見人名簿登録選考会議>

第1回市民後見人養成研修修了者の内希望者16名を選考した結果16名を名簿登録した。

<市民後見人受任調整会議>

上記名簿登録者の中から適切な者1名を推薦した。

<市民後見人誕生>

8月10日県内初となる市民後見人が誕生した。

その市民後見人が熱海市、掛川市の市民後見人養成研修内で活動報告を行った。

<監督人>

上記、市民後見人の監督人として、後見事務の監督をした。

4. 法人後見事業

<成年後見等審査委員会>

・日 時 1月26日（金）

<法人後見人受任>

家庭裁判所、後見人と協議を重ね、市民後見を見据えた法人後見人を1件新たに受任した。合計2件受任中（累計3件）。

《平成29年度の主な取組目標（地域福祉活動計画より）》

①受任件数 3件

《実績》

①受任件数 2件

5. 福祉機器リサイクル事業

高齢者などの在宅生活の支援、社会参加の促進、家庭介護の軽減を図ることを目的に、不用となった福祉機器を無償で提供していただける方と譲り受けたい方とのリサイクル情報の橋渡しを行った。

- ・対 象 不用になった福祉機器を譲りたい方
お年寄りなどで福祉機器を必要とする方
- ・費 用 無料（運搬・修理に関する費用は譲り受ける方が負担）
- ・物 品 福祉機器・介護用品（直接身体に触れる物品は未使用のもの）
- ・実 績 譲ります情報 74件 求めます情報 126件
成立状況 53件

6. 家族介護者交流事業

在宅において、寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護している方々の親睦を図るとともに、日頃の介護の疲れを癒すことを目的に開催した。

<介護おしゃべりカフェ>

- 第1回 10月28日（土）
「心寄り添う癒しのタッチセラピー」 参加者14名
- 第2回 11月26日（日）
「音楽で癒されようカルチャー講座」 参加者16名

<凝りや痛みを効く!! マッサージ体験教室>

- 第1回 12月10日（日） 参加者17名
- 第2回 2月10日（土） 参加者15名

（計4事業）

7. 車いす短期貸出事業

病気やケガ及び旅行等、短期間(病2週間)車いすを必要とする方へ貸出を行った。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年
貸出件数	22	19	20	18	17	9	14	28	15	7	12	7	188	219

【社会福祉センターの運営】

富士市からの指定管理者として社会福祉センター（広見荘、田子浦荘、東部市民プラザ、鷹岡市民プラザ）の管理を行い、高齢者をはじめ市民の健康増進や憩いの場として提供した。

項目	広見荘	田子浦荘	東部市民プラザ	鷹岡市民プラザ	合計	前年
高齢者	35,982人	40,664人	30,448人	26,159人	133,253人	130,770人
障がい者	424人	366人	440人	216人	1,446人	915人
児童	268人	22人	92人	71人	453人	452人
その他	533人	125人	4,006人	14,524人	19,188人	19,575人
合計	37,207人	41,177人	34,986人	40,970人	154,340人	151,712人
開館日数	281日	281日	281日	281日	281日	281日
1日平均利用者数	132人	147人	125人	146人	549人	540人

【生きがいデイサービス事業】

在宅で閉じこもりがちな高齢者を対象に、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

- ・実施場所
 - 健康クラブ（広見荘 毎週火・木・土）
 - 元気クラブ（田子浦荘 毎週火・木・土）
 - あったかクラブ（鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土）
 - うららかクラブ（富士川地域福祉センター 毎週火・水・木）
- ・開所日数
 - 健康クラブ 145日
 - 元気クラブ 145日
 - あったかクラブ 145日
 - うららかクラブ 149日
- ・延利用者数
 - 健康クラブ 1,581人
 - 元気クラブ 1,826人
 - あったかクラブ 1,375人
 - うららかクラブ 1,173人

【健康づくりデイサービス事業】

要支援状態等にある高齢者を対象として、自立生活の支援及び社会参加の促進を図ることを目的に、介護予防サービス計画または介護予防ケアマネジメントの内容に沿って、生活指導・介護予防体操・レクリエーション等のサービスの提供を行った。

・実施場所	健康クラブ	(広見荘 毎週火・木・土)
	元気クラブ	(田子浦荘 毎週火・木・土)
	あったかクラブ	(鷹岡市民プラザ 毎週火・木・土)
	うららかクラブ	(富士川地域福祉センター 毎週火・水・木)
・開所日数	健康クラブ	145日
	元気クラブ	145日
	あったかクラブ	145日
	うららかクラブ	149日
・延利用者数	健康クラブ	223人
	元気クラブ	226人
	あったかクラブ	99人
	うららかクラブ	665人

【介護保険事業】

1. 居宅介護支援事業

- ・利用者延べ人数 3,168人
(事業対象者…56人 要支援…593人 要介護…2,519人)
- ・利用者内訳
事業対象者…56人(1.8%) 要支援1…260人(8.2%)
要支援2…333人(10.5%) 要介護1…772人(24.4%)
要介護2…831人(26.2%) 要介護3…432人(13.6%)
要介護4…305人(9.6%) 要介護5…179人(5.7%)
- ・介護認定調査 146件 (富士市…98件、富士市以外…28件、県外…20件)

2. 訪問介護事業

・利用者訪問延べ回数 8,341回

(事業対象者…214回 要支援…1,095回 要介護…7,032回)

・利用者内訳	事業対象者… 214回(2.6%)	要支援1… 404回(4.8%)
	要支援2… 691回(8.3%)	要介護1… 1,630回(19.5%)
	要介護2… 2,313回(27.7%)	要介護3… 1,630回(12.2%)
	要介護4… 869回(10.4%)	要介護5… 1,206回(14.5%)

3. 訪問入浴介護事業 ※29年度末で事業廃止

・利用者延べ人数 309人

・利用者内訳	要介護2… 0人(0%)	要介護3… 130人(42.1%)
	要介護4… 123人(39.8%)	要介護5… 56人(18.1%)

4. 通所介護事業

(1) 富士川デイサービスセンター

・開所日数 310日

・利用延べ人数 12,786人

(事業対象者…30人 要支援…766人 要介護…11,969人)

・利用者内訳	事業対象者… 33人(0.3%)	要支援1… 147人(1.2%)
	要支援2… 619人(4.8%)	要介護1… 4,707人(36.9%)
	要介護2… 3,910人(30.5%)	要介護3… 1,567人(12.3%)
	要介護4… 1,132人(8.9%)	要介護5… 653人(5.1%)

【障害福祉サービス事業】

1. 居宅介護

・利用者数	33人
・延派遣回数	4,083回
・延派遣時間数	4,678時間10分

2. 同行援護

・利用者数	24人
・延派遣回数	948回
・延派遣時間数	3,236時間10分

3. 移動支援

・利用者数	6人
・延派遣回数	219回
・延派遣時間数	340時間

4. 訪問入浴（身体障害者）

・利用者数	2人
・延派遣回数	137回

【障害者就労支援施設・生活介護事業所の運営】

障害者就労支援施設・生活介護事業所を運営し、利用者への知識及び能力等の向上の為に必要な訓練や創作的活動又は生産活動の機会の提供を行った。さらに、鷹身工芸社でも送迎サービスを実施し、ひめな、ふじばら作業所、まつぼっくりの4事業所で、利用者送迎サービスを実施している。また、職員の資質向上を目的とし、研修を実施した。なお、吉原つくし生活介護の定員を8名から10名とし運営した。

利用者人数	156名	男性	84名	女性	72名	※3月31日現在
平均年齢	約40歳	最高齢	70歳	最年少	18歳	※3月31日現在
月平均工賃	14,678円					
最高事業所	33,055円					
最低事業所	6,999円（生活介護以外の事業所）					

単独型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所） *利用者数は3月31日現在

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
竹の子	S63. 4. 1	20人	手作り石けん ビーズ製品
ひめな	H8. 10. 1	17人	縫製品 苔玉 しいたけっ粉販売
ふれあいショップ あゆみ	H1. 10. 1	10人	手作りパン ラスク各種
ふじひろみ	S53. 6. 1	12人	ぼかし ぷくぷく（入浴剤） 縫製品
市民ふれあいバンク	S58. 8. 1	18人	手作り石けん リサイクル品回収販売
鷹身工芸社	S59. 8. 1	19人	トールペイント 花の苗作り ぼかし、縫製品
ふじばら作業所	H1. 4. 1	20人	ふじ山キャンドル ぼかし 陶芸品 ボタニカルキャンドル
まつぼっくり	H13. 4. 1	12人	手作り洋菓子 （クッキー等）

多機能型事業所（指定就労継続支援（B型）事業所及び指定生活介護事業所又は指定就労移行支援事業所）

事業所名	開設年月日	利用者数	主な自主製品等
吉原つくし	<継続> S55. 4. 7 <生活介護> H23. 5. 10	計27人 <継続> 17人 <生活介護> 10人	手染め製品 手織りマフラー 名刺印刷 しおり

・障害者就労支援施設・生活介護事業所職員全体研修

7月13日（木）	51人
9月28日（木）	55人
11月9日（木）	54人
10月27日（木）	54人
2月15日（木）	57人
3月2日（金）	57人

【特定相談支援事業】

障害者就労支援施設等の利用者や、その家族が障害福祉サービスを適切に利用する為のサービス等利用計画作成を始めとした相談支援事業を実施した。

《平成29年度の主な取組目標》

①契約件数 210件

《実績》

①契約件数 213件

内訳 社協障害者就労支援施設・生活介護事業所利用者 154人
その他（社協居宅介護利用者・他事業所利用者） 59人

【共同募金運動】

1. 赤い羽根共同募金運動

この運動は、毎年多くのボランティアの方々に支えられ、平成29年度は次のとおり募金をいただいた。これらの募金は、民間社会福祉事業の充実向上、健康で安心して暮らせる福祉のまちづくりのための事業に活用されている。

- ・実施期間 10月1日 ～ 12月31日
- ・協力団体 町内会（区長会）、民生委員児童委員協議会、他諸団体

区 分	目 標 額	実 績 額
町 内 募 金	14,700,000円	14,683,910円
篤志・法人募金	7,330,000円	6,283,000円
街 頭 募 金	1,700,000円	1,513,192円
合 計	23,720,000円	22,480,102円

(前年同期 22,485,300円)

2. 歳末たすけあい運動

この運動は、赤い羽根共同募金運動の一環として行われるもので、「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、低所得世帯等が安心して新年を迎えることができるよう配分を行った。

(1) 配分結果

- ・低所得世帯（生活保護世帯は除く）

470世帯	1,254人	7,718,000円
ねたきり	21人	認知症 10人
重度心身障がい児(者)	61人	両親のいない児童 10人

- ・福祉施設利用者

16カ所	72人	605,000円
------	-----	----------

合計 8,323,000円

(2) 募金結果

・会社職域関係	698,512円
・団体関係	508,229円
・学校関係	151,583円
・個人	105,129円
・たすけあい袋	8,090,696円
合計	9,554,149円



赤い羽根共同募金運動(街頭募金)



歳末たすけあい運動

【受入調整】

1. 実習受入

社会福祉向上と福祉教育の一環として、学生等を対象に福祉実習の受入を実施した。

- ・実習受入数 52人

(内訳) 介護職員初任者実習	2人
保育実習	1人
看護師実習	48人
中堅養護教員資質向上研修実習	1人

2. 視察受入

当会の実施している諸事業について、概要説明や施設見学を行った。

・視察等受入 3件

12月6日(水) 磐田市社会福祉協議会・磐田市地区社協連絡協議会
「地区福祉推進会の活動状況・補助金、まちづくり協議会の関係」

12月14日(木) 静岡県立大学経営情報学部
「災害時の共助につながる日常からのコミュニティ活動や住民の結びつきについて」

2月21日(月) 刈谷市社会福祉協議会
「市民後見人の養成・社会福祉協議会モニターについて」

・市公共施設見学受入 1件

3. その他

子ども食堂富士見台の視察受入調整を行った。

・視察受入調整 3件

7月24日(月) 静岡市三保地区社会福祉協議会

9月7日(木) 藤枝市大洲地区社会福祉協議会

1月23日(火) 伊東市民生委員・児童委員協議会

【社協災害対策本部開設訓練】

非常時に社協職員として防災マニュアルに沿った対応がいち早くできるよう、「災害ボランティア支援本部開設訓練」と並行して訓練を行った。また、関係機関と共に連携し、一日も早い市民生活の復旧と、そのために必要な支援とサービスが提供できる社協の体制づくりを模索した。

・実施日 1月20日(土)、21日(日)

・参加職員 社協事務局、介護・障害サービス事業所、

・内容 職員安否確認(安否確認メールシステムによる確認)、
出先機関の被害状況確認と職員配置シミュレーション、
富士市との情報交換(MCA無線)、社協ブログへ情報発信

【富士市介護保険事業者連絡協議会の支援】

介護保険事業者が相互の連携と、サービスの総合的な質の向上を行うことを目的に各種研修会を実施し、その事務局役割を担っている。

【団体事務支援】

団体の活動がスムーズに運営できるよう側面的に支援を行った。

1. 富士市身体障害者福祉会
2. 富士市単親家庭の会
3. 富士市在宅介護者家族の会
4. 富士市民生委員児童委員互助会

【寄附金】

社会福祉協議会への寄附者は、下記のとおりです。

1. 一般寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額	
4	宗清倶楽部杯 チャリティーゴルフ	13,600	8	匿名	3,000	
	「富士の型染」グループ	67,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
	アメリカンフラワー東信支部 静岡ブロック	55,826		石川信枝	1,050,000	
	日東 加藤建築 代表 加藤勝二	120,000		広見地区まちづくり協議会	33,550	
	匿名	633		鈴木政義	10,000	
	信友会 大石のぶよし	100,000		匿名	626	
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		匿名	3,000	
	鈴木政義	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
5	匿名	100,000	9	鈴木政義	10,000	
	匿名	5,000		富士市立高等学校 生徒会	136,635	
	鈴木政義	10,000		高木満寿美シャンソン教室 門下生モンレーヴ	38,415	
	匿名	10,000		富士市立田子浦中学校PTA	60,800	
	匿名	3,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
	株式会社小林製作所	200,000		10	蓮心寺 青山泰謙	49,148
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000			東京六大学 富士山カレッジ カップ	77,880
6	高木満寿美	50,000		ジヤトコフェスタ実行委員会	19,608	
	鈴木政義	10,000		ジヤトコ株式会社・ 株式会社日産クリエイティブサービス	32,769	
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		鈴木政義	10,000	
7	フォークダンスおのわ 代表 小野国江	128,000		匿名	20,000	
	静岡県富士見中学校・高等学校 校・生徒会・PTA	50,000		松本玲子	10,000	
	本市場子供会	5,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000	
	本市場中学PTA	5,000		田子浦親交会	113,230	
	鈴木政義	10,000		中央静岡ヤクルト販売株式会社	113,231	
	吉原聖母幼稚園	20,000		11	宗清倶楽部杯 チャリティーゴルフ	15,500

月	氏名	金額	月	氏名	金額
	富士マンドリンクラブ	47,800		諏訪部弘	22,400
	偕楽窯会	20,000		丘地区町内会連合会・ 丘地区福祉推進会	62,450
	匿名	3,000		匿名	94,191
	鈴木政義	10,000		稲葉芳典	100,000
	興亜工業株式会社 代表取締役社長 甘艸保之	100,000		匿名	641
	菊池光男	500,000		匿名	13,625
	NPO法人 ふじ・生き生き ネット 内野孝子	20,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	マックスバリュ東海株式会社 富士南店 (車いす1台 金銭換算)	35,000	1	大屋伊津子	10,000
	浮良富邇会	30,000		匿名	3,000
	株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000		学校法人旭学園 富士調理技術専門学校	10,000
12	富士市吉原地区生涯学習推進 会・成人教育部	6,650		秋山美佐子	10,000
	匿名	50,000		鈴木政義	10,000
	まどの会 代表 鈴木鈴子	5,000		匿名	3,000
	匿名	19,590		匿名	7,310
	常葉大学 富士キャンパス学友会・ 常葉大学後援会 富士キャンパス支部会・ 富士常葉大学 後援会OB会	10,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	鈴木政義	10,000	2	鈴木政義	10,000
	匿名	30,000		ピアゴ富士中央店	8,066
	株式会社コーヨー 代表取締役 渡邊直	30,000		ピアゴ中里店	3,564
	NPO法人 楽しいことやら 座	30,000		須津幼稚園PTA	10,000
	三生医薬株式会社	100,000		アピタ富士吉原店	74,933
	須津地区まちづくり協議会	24,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	生命保険協会 (高齢者疑似 体験セット10式 金銭換算)	283,720	3	一般社団法人岳南法人会	460,000
	匿名	10,000		一般社団法人富士山観光交流 ビューロー	10,000

月	氏名	金額	月	氏名	金額
	匿名	3,000		鈴木政義	10,000
	「富士の型染」グループ	66,000		株式会社ユーライフ 代表取締役 石川雅博	10,000
	匿名	20,000			
9 9 件			5,297,391 円		

2. 社協各事業所への指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額
4	匿名	20,000		菊池光男	450,000
6	大石音楽事務所 信友会 大石のぶよし	45,483	12	第37回市民福祉まつり実行委員会 会 実行委員長 井出哲夫	108,000
	富士駅南地区福祉推進会	25,280	2	比奈・節分の市	20,000
7	連合静岡 富士・富士宮地域協議会 (ソファベッド・シュレツダー金銭換算)	110,225		富士市福祉事業協力会	1,330,000
11	元吉原地区町内会連合会・ 元吉原地区女性の会	44,431	3	匿名	30,880
	興亜工業株式会社 代表取締役社長 甘艸保之	100,000			
1 1 件			2,284,299 円		

3. 交通遺児指定寄附

(敬称略・単位 円)

月	氏名	金額	月	氏名	金額
6	富士地区貨物運送事業 協同組合 理事長 吉野正則	300,000	1	望月長男	10,000
	一般社団法人 静岡県トラック協会東部 地区支部富士分室 分室長 吉野正則	300,000			
3 件			610,000 円		